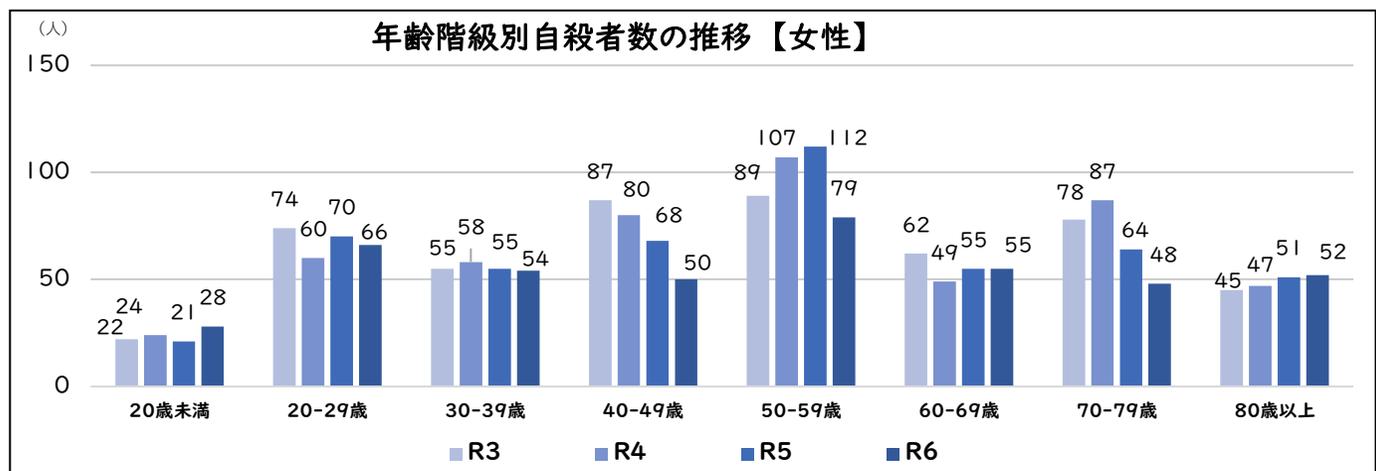
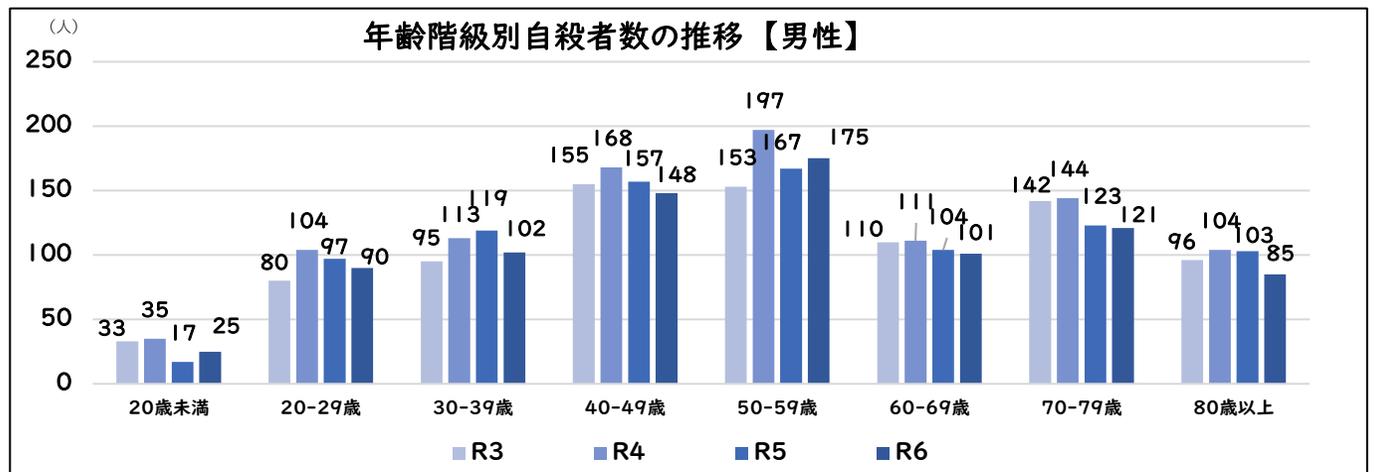
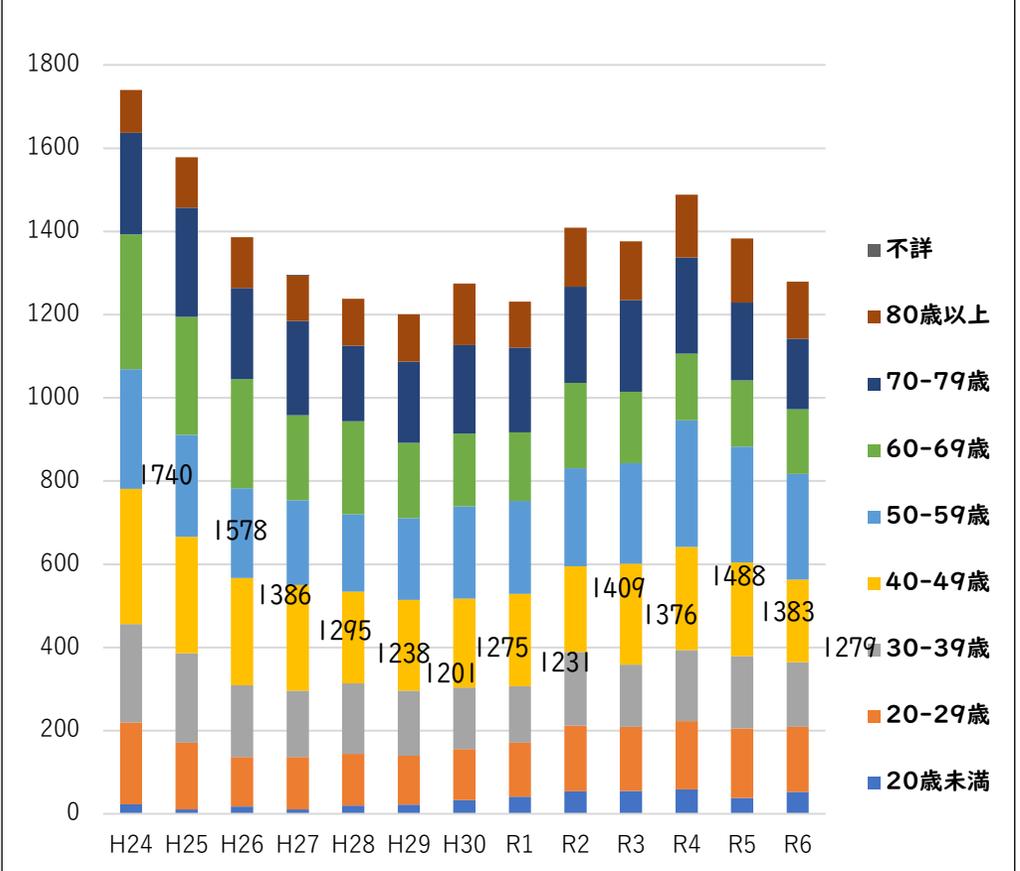


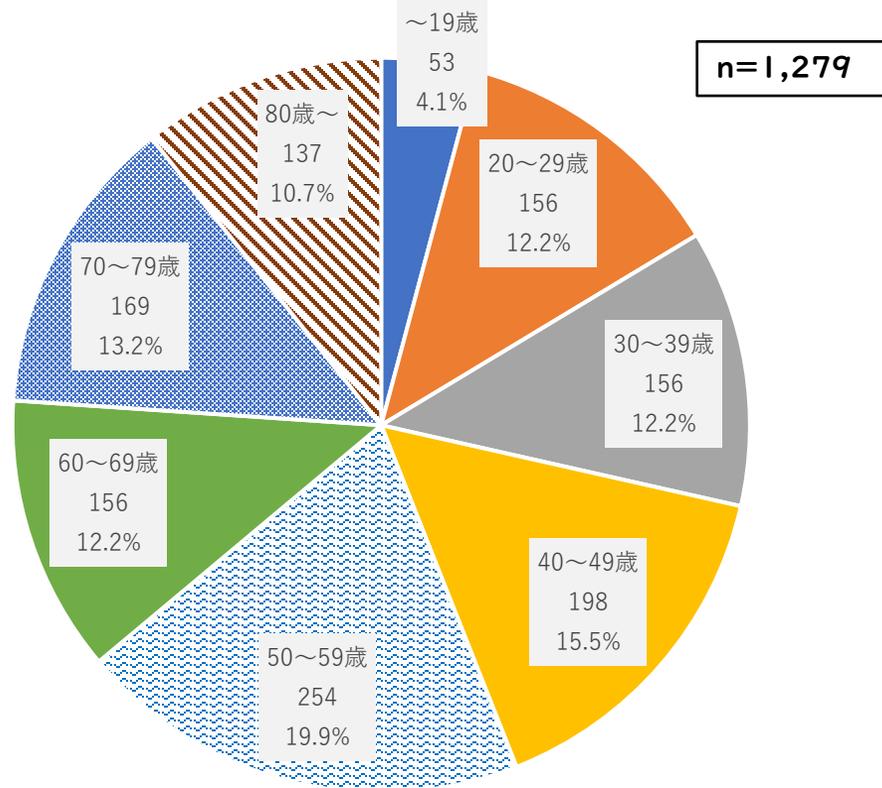
地域における 高齢者の自殺の状況について

年齢階級別自殺者数の推移 大阪府

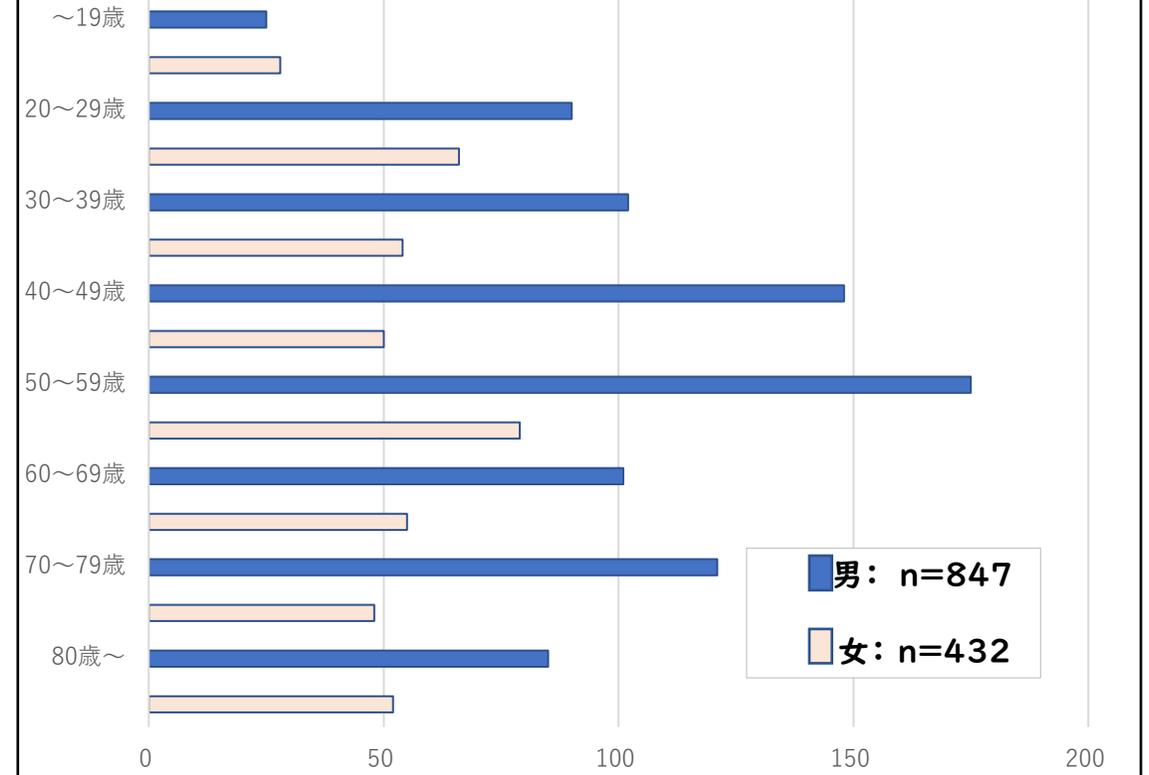


- 男性については、60歳以上は減少傾向である
- 女性については、60歳代、70歳代は減少傾向であり、特に70歳代は大きく減少している。80歳以上は増加傾向である

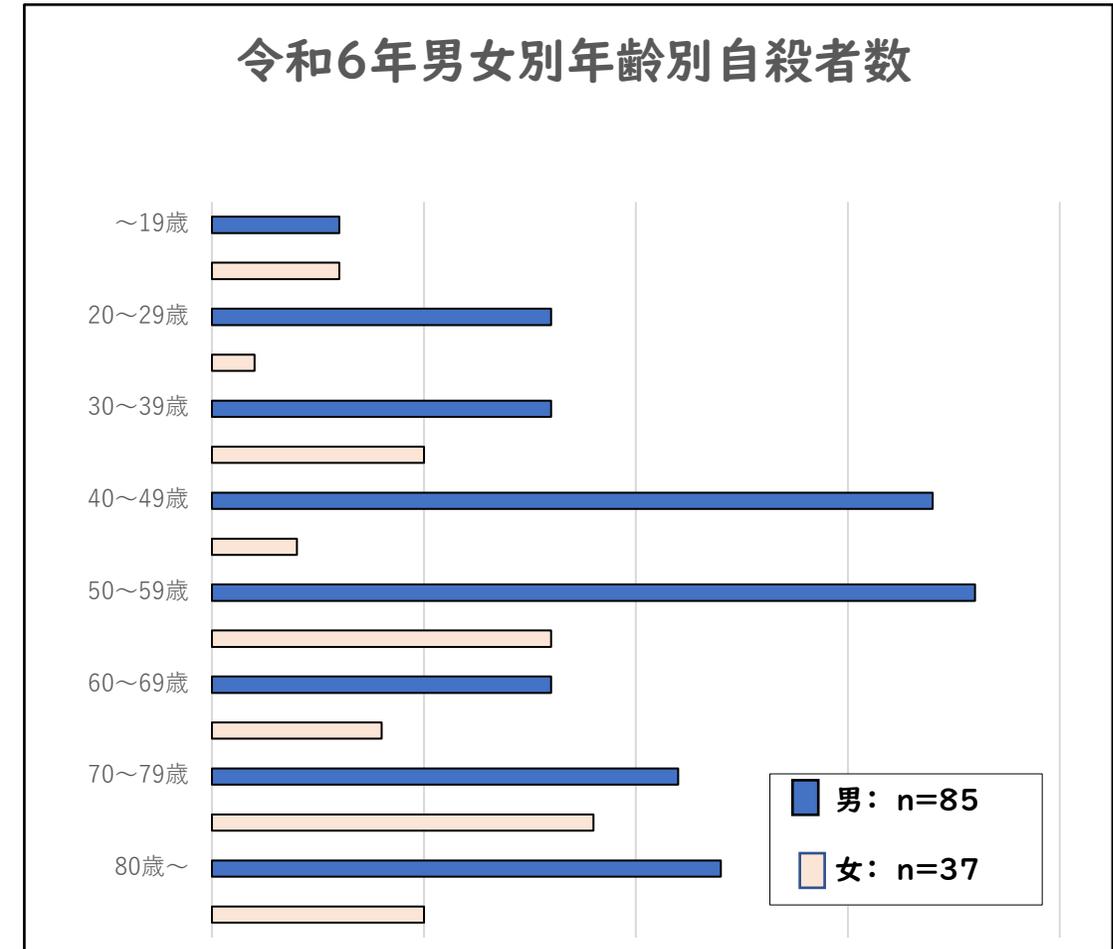
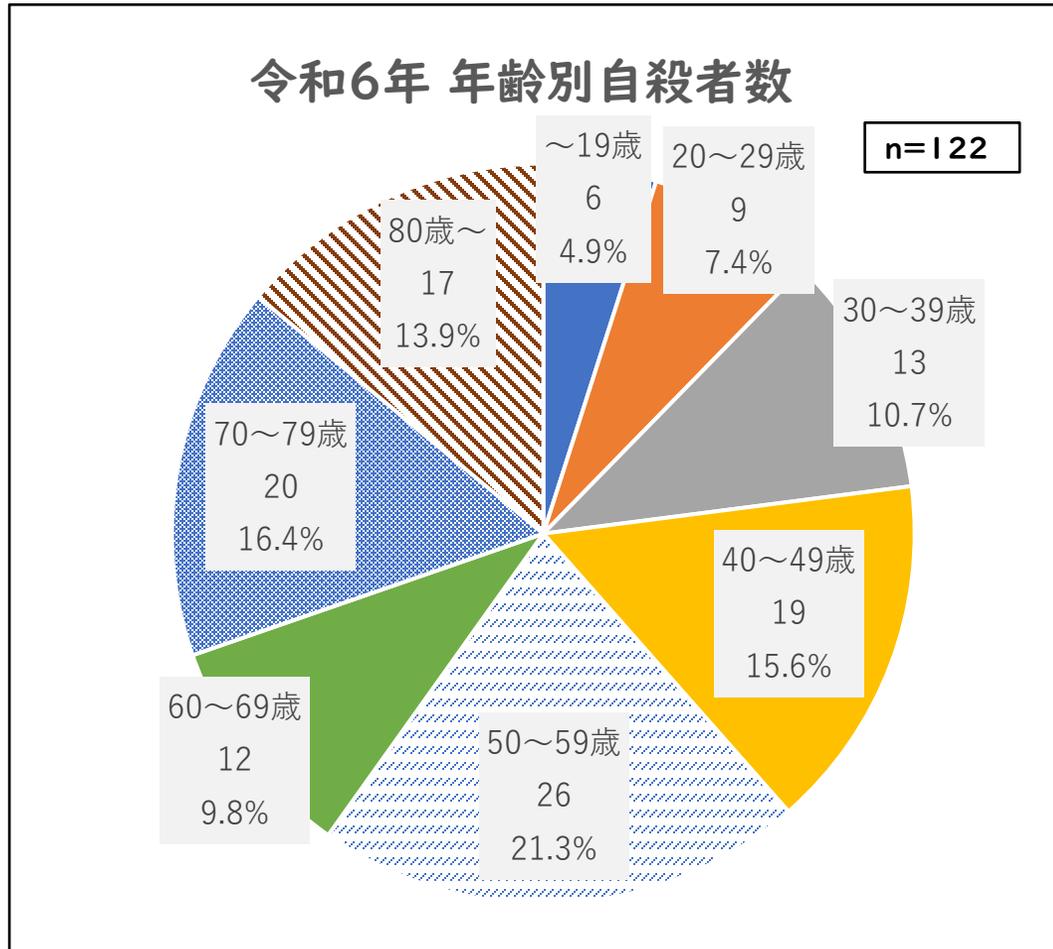
令和6年 年齢別自殺者数



令和6年・男女別年齢別自殺者数



- 令和6年の自殺者数1279人のうち、60歳以上は462人(36.1%)であった
- 全体の男女比は男性66.2%、女性33.8% 60歳以上については男性307人(66.5%)、女性155人(33.5%)



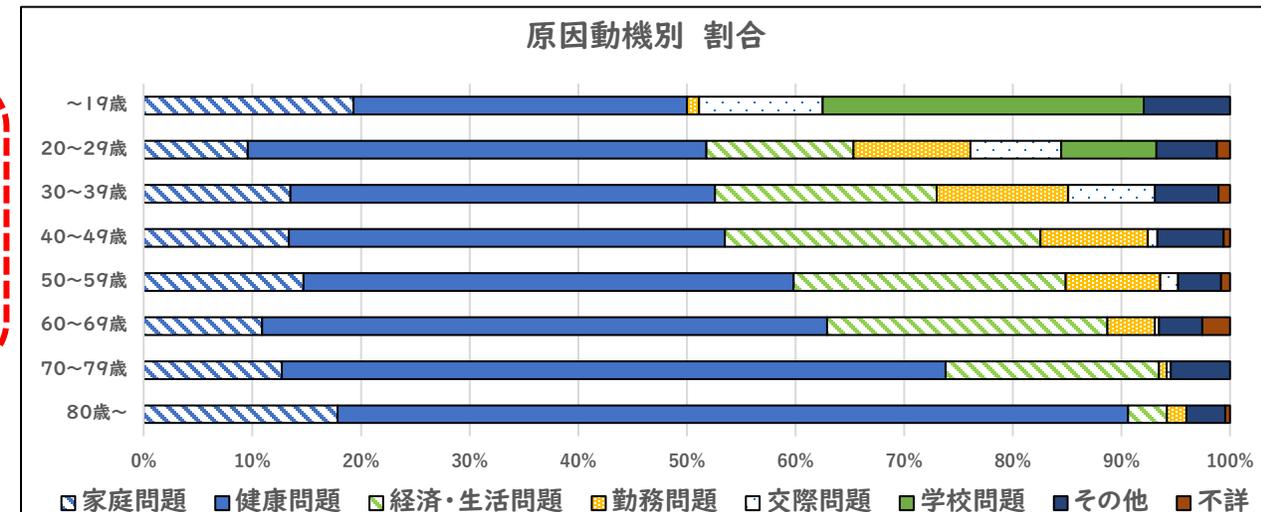
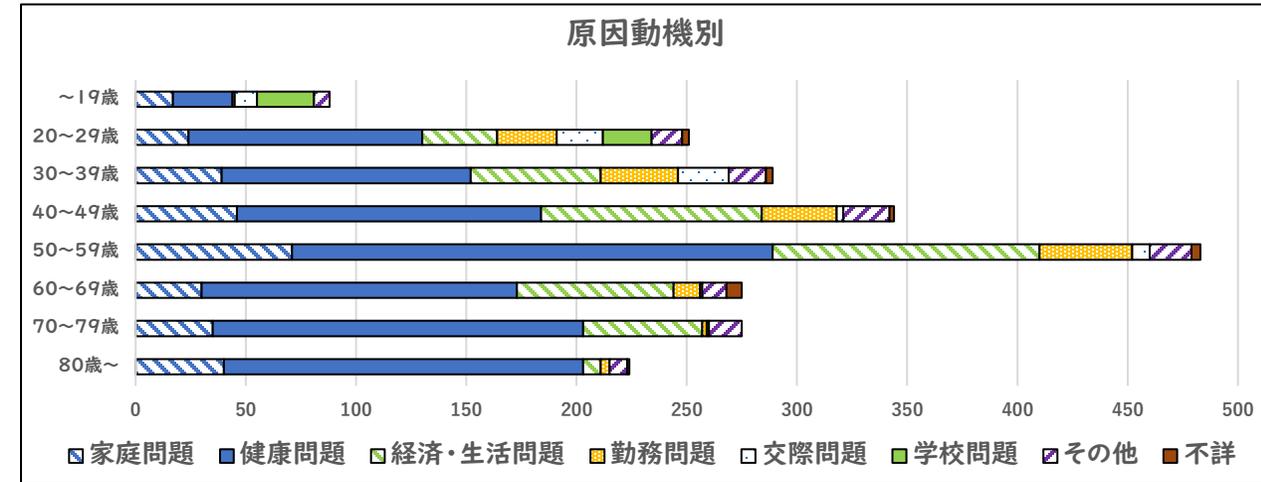
- ・令和6年の自殺者数122人のうち、60歳以上は49人(40.2%)であった
- ・全体の男女比は男性69.7%、女性30.3%。60歳以上については、男性31人(63.3%)、女性18人(36.7%)であった

高齢者の自殺の状況② 原因・動機別 (大阪府版・令和6年)

出典：自殺統計原票データ 特別集計

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
～19歳	男	8	11	0	0	5	11	3	0
	女	9	16	0	-	5	15	4	0
20～29歳	男	6	47	29	20	9	19	8	-
	女	18	59	5	7	12	3	6	-
30～39歳	男	25	61	51	27	14	0	14	-
	女	14	52	8	8	9	0	3	-
40～49歳	男	30	78	94	31	-	0	17	-
	女	16	60	6	3	-	0	4	0
50～59歳	男	48	131	109	35	-	0	14	4
	女	23	87	12	7	6	0	5	0
60～69歳	男	11	76	66	10	0	0	10	6
	女	19	67	5	-	-	0	-	-
70～79歳	男	22	114	43	-	0	0	10	0
	女	13	54	11	0	-	0	5	0
80歳～	男	19	106	8	4	0	0	5	-
	女	21	57	0	0	0	0	3	0
合計	男	169	624	400	129	32	30	81	17
	女	133	452	47	28	35	18	31	3

※他情報と照会しても個人が識別されないよう一部非公表のため「-」で表記



※自殺の原因・動機(4つまで選択可)

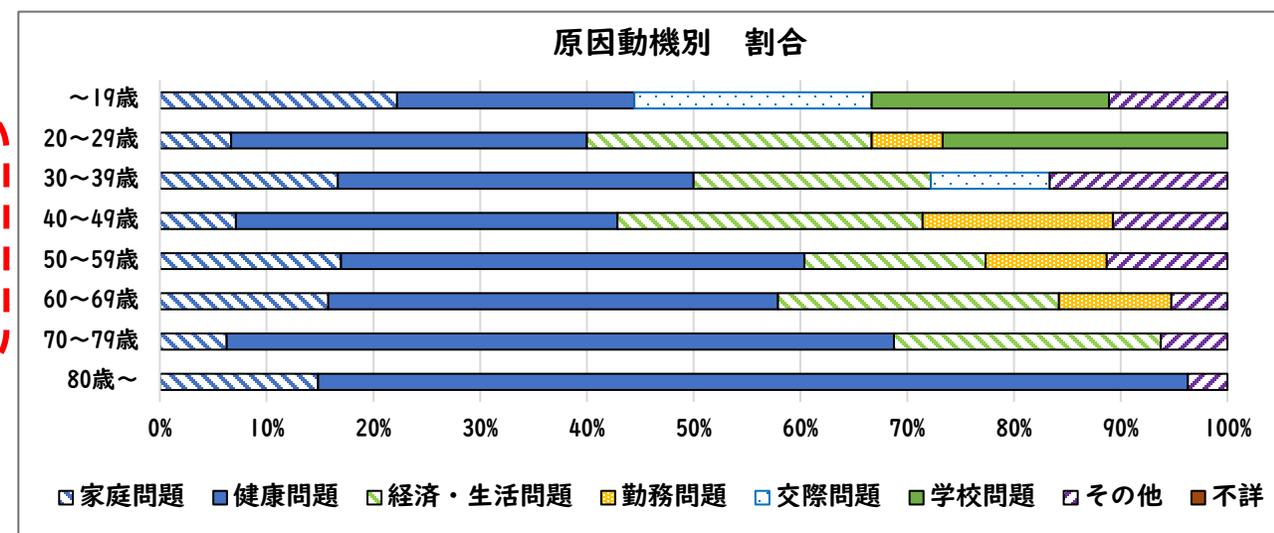
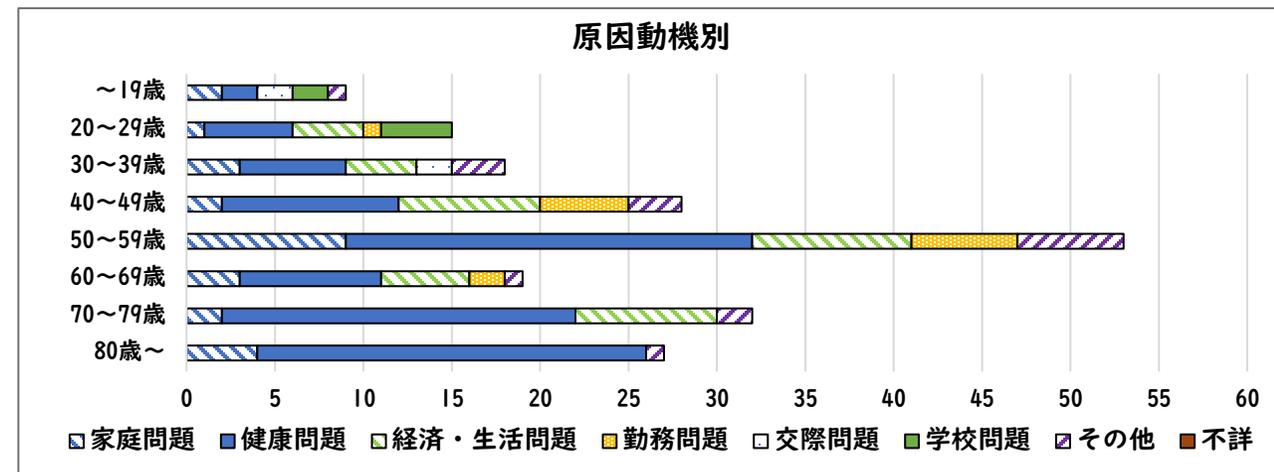
- 60歳以上は健康問題の占める割合が他年代よりも高く、年代が高いほど割合が高い
- (60歳代52.0%、70歳代61.1%、80歳以上72.8%)
- 60歳代、70歳代は健康問題、経済・生活問題、80歳以上は健康問題、家庭問題の順に多かった

高齢者の自殺の状況② 原因・動機別 (泉州圏域版・令和6年)

出典：自殺統計原票データ 特別集計

	性別	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
～19歳	男	-	-	0	0	-	0	0
	女	-	-	0	0	0	-	-
20～29歳	男	-	4	4	-	0	4	0
	女	0	-	0	0	0	0	0
30～39歳	男	-	-	3	0	-	0	3
	女	-	4	-	0	0	0	0
40～49歳	男	-	9	8	5	0	0	3
	女	-	-	0	0	0	0	0
50～59歳	男	5	13	8	6	0	0	4
	女	4	10	-	0	0	0	-
60～69歳	男	-	4	5	-	0	0	-
	女	-	4	0	0	0	0	0
70～79歳	男	0	12	3	0	0	0	-
	女	-	8	5	0	0	0	-
80歳～	男	-	17	0	0	0	0	0
	女	-	5	0	0	0	0	0
合計	男	12	62	31	14	4	4	12
	女	14	34	7	0	0	-	5

※他情報と照会しても個人が識別されないよう一部非公表のため「-」で表記



※自殺の原因・動機 (4つまで選択可)

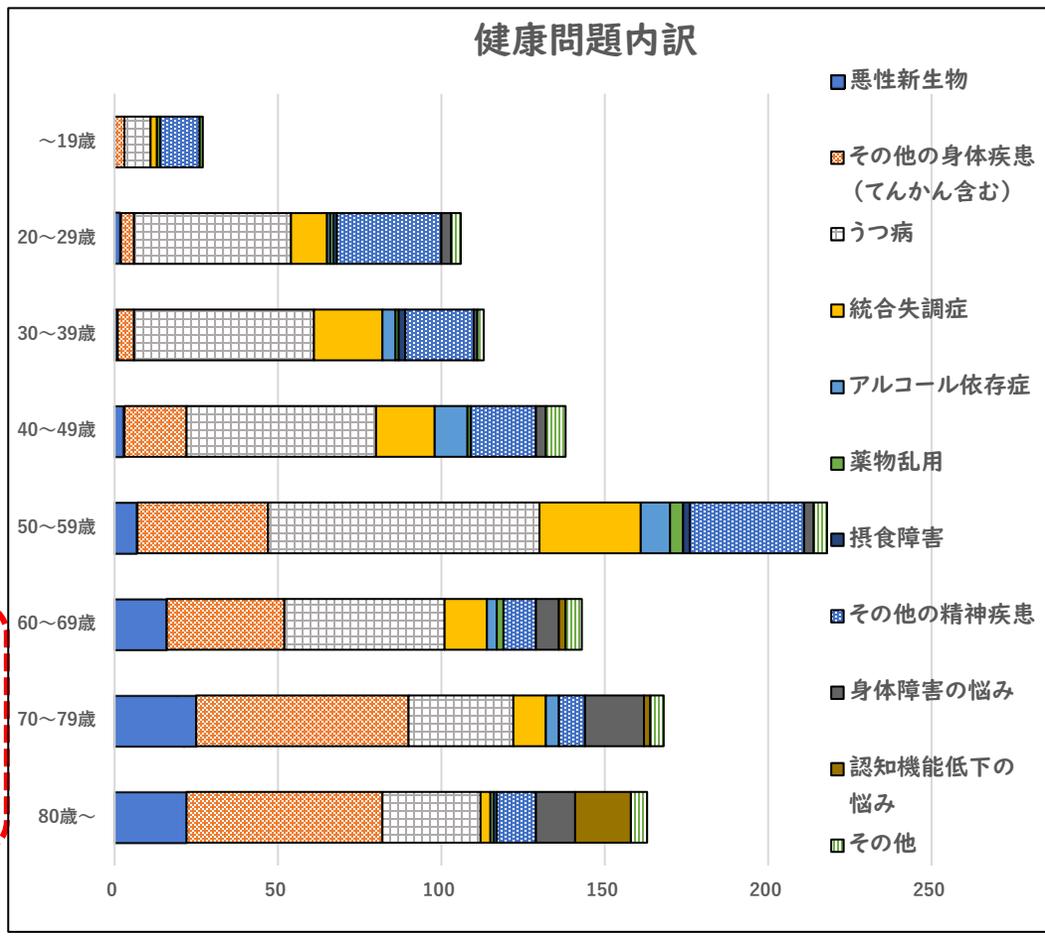
・70歳以上は「健康問題」の占める割合が、他年代より多くなっている

高齢者の自殺の状況③ 原因・動機別（健康問題内訳）（大阪府版・令和6年）

出典：自殺統計原票データ 特別集計

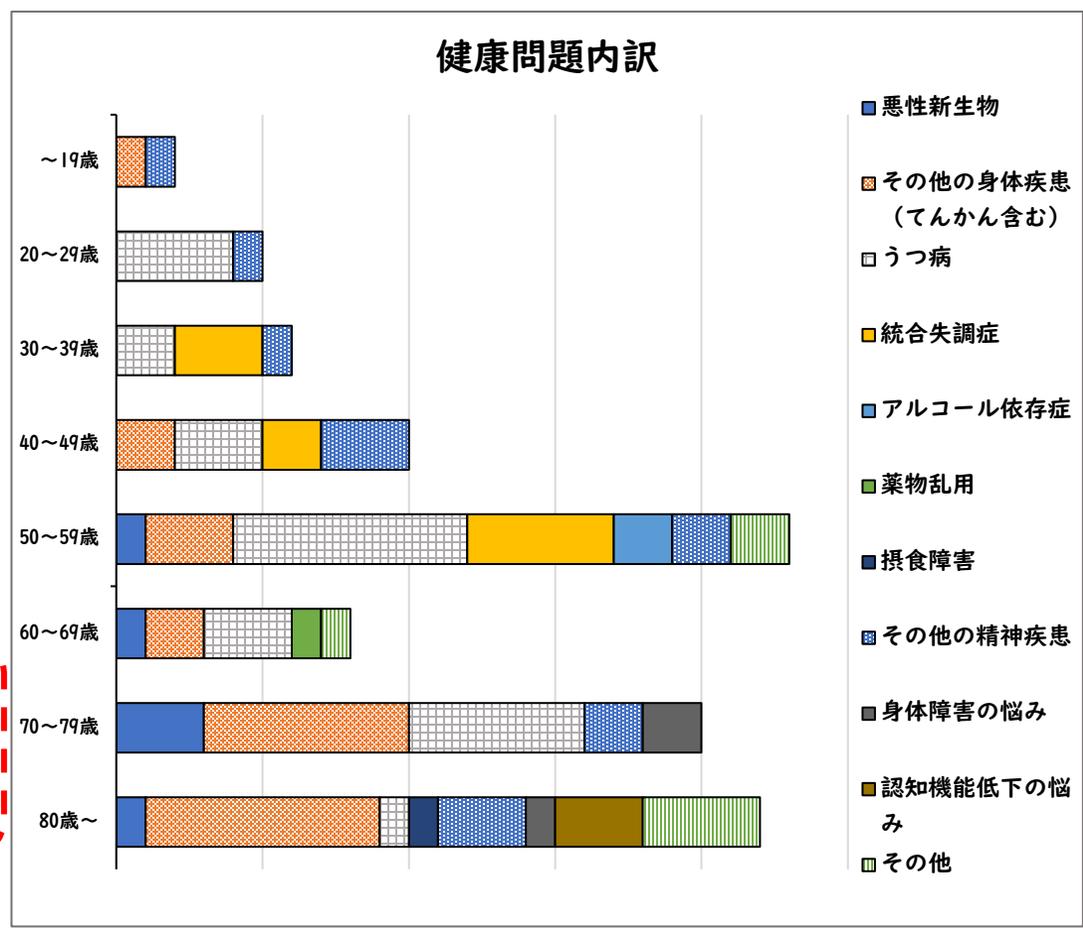
年齢階級	性別	身体疾患		精神疾患						身体障害の悩み	認知機能低下の悩み	その他
		悪性新生物	その他の身体疾患（てんかん含む）	うつ病	統合失調症	アルコール依存症	薬物乱用	摂食障害	その他の精神疾患			
～19歳	男	0	-	-	-	0	-	0	5	0	0	0
	女	0	-	6	-	0	0	0	7	0	0	-
20～29歳	男	-	4	19	5	-	0	-	14	-	0	-
	女	-	0	29	6	0	-	0	18	-	0	-
30～39歳	男	0	-	29	13	-	-	-	12	-	0	-
	女	-	3	26	8	3	0	-	9	0	0	-
40～49歳	男	-	12	31	10	8	-	0	9	-	0	3
	女	-	7	27	8	-	0	0	11	-	0	3
50～59歳	男	5	26	50	16	7	3	-	18	-	0	3
	女	-	14	33	15	-	-	-	17	-	0	-
60～69歳	男	9	24	18	8	-	-	0	4	5	-	5
	女	7	12	31	5	-	-	0	6	-	-	0
70～79歳	男	20	50	17	4	4	0	0	5	12	-	-
	女	5	15	15	6	0	0	0	3	6	-	3
80歳～	男	19	45	11	-	0	-	-	7	9	8	4
	女	3	15	19	-	0	0	0	5	3	9	-
合計	男	56	165	177	58	22	8	4	74	32	10	18
	女	20	67	186	51	9	3	-	76	15	11	12

※他情報と照会しても個人が識別されないよう一部非公表のため「-」で表記



- 原因・動機別の中で「健康問題」の内訳をみると、40歳代までは、「うつ病」「その他の精神疾患」の順に多くなっている
- 「その他の身体疾患（てんかん含む）」は、40歳代以降徐々に増加し、70歳代以降は最多となっている
- また年齢があがるにつれ、「身体障害の悩み」「認知機能障害の低下の悩み」等も増加している

年齢階級	身体疾患		精神疾患						身体障害の悩み	認知機能低下の悩み	その他	計（健康問題）
	悪性新生物	その他の身体疾患（てんかん含む）	うつ病	統合失調症	アルコール依存症	薬物乱用	摂食障害	その他の精神疾患				
～19歳	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	-
20～29歳	0	0	4	0	0	0	0	-	0	0	0	-
30～39歳	0	0	-	-	0	0	0	-	0	0	0	6
40～49歳	0	-	3	-	0	0	0	3	0	0	0	-
50～59歳	-	3	8	5	-	0	0	-	0	0	-	23
60～69歳	-	-	3	0	0	-	0	0	0	0	-	8
70～79歳	-	7	6	0	0	0	0	-	-	0	0	20
80歳～	-	8	-	0	0	0	-	3	-	3	4	22
合計	6	23	27	10	-	-	-	13	3	3	7	96



※他情報と照会しても個人が識別されないよう一部非公表のため「-」で表記。ならびに性別は非表記

- ・原因・動機の中で「健康問題」の内訳をみると、全体では、「うつ病」が最も多く約28%となっている
- ・60歳以上の原因・動機の「健康問題」の中で、精神疾患の内訳をみると、「うつ病」は精神疾患全体の約59%となっている
- ・60歳以上の原因・動機の「健康問題」の中で、身体疾患の内訳をみると、「悪性新生物」は身体疾患全体の約23%となっている